



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第29号
2015年1月

【ご挨拶】

健やかに、新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年が皆様にとりまして、幸多き年になりますよう、お祈り申し上げます。

皆様の、日頃からのご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。市議会議員として、日々、市民生活向上のため、深谷市発展のため精進しております。日頃の議員活動や市政状況を、市民皆様に御報告し開かれた政治を実現して参ります。これからも、御意見や御要望を聞かせていただき「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷の実現に向け、活動して参りますので、変らぬご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

【議会報告】

深谷市議会 平成26年度 第4回定例会12月議会が終了しました。

主な議案

- ・議会議員定数条例の一部を改正する条例（可決）
 - ・保育園条例の一部を改正する条例（可決）
 - ・総合振興計画基本構想の変更について（可決）
 - ・新市建設計画の変更について（可決）
 - ・公の施設の相互利用に関する協議について（可決）
 - ・平成26年度一般会計補正予算（第6号）（可決）
- （他、市長提出議案24件・議員提出議案2件・請願2件）

《ここに注目パート1》“議員定数の2名削減！”

厳しい財政状況が予想される中、現在の議員定数26名を2名削減し24名とする議案を提出し可決されました。これで4月に行われる市議会議員選挙から定数24名で実施されます。（図1参照）

平成26年9月に発表された「財政状況と今後の見通し」では、現在の歳入（収入）と歳出（支出）のバランスが、このまま推移すると、平成30年には、財政調整基金（貯金）が「0」になり、起債制限（勝手に借金ができなくなる）を受けることが予想される。というものです。

《ここに注目パート2》“保育園条例の一部を改正”

国の制度改正により、今までは求職活動中の方が子どもを保育園に預けることが難しかったですが、90日間という期間があります。が預けられるようになりました。

※総合振興計画基本構想並びに新市建設計画の変更

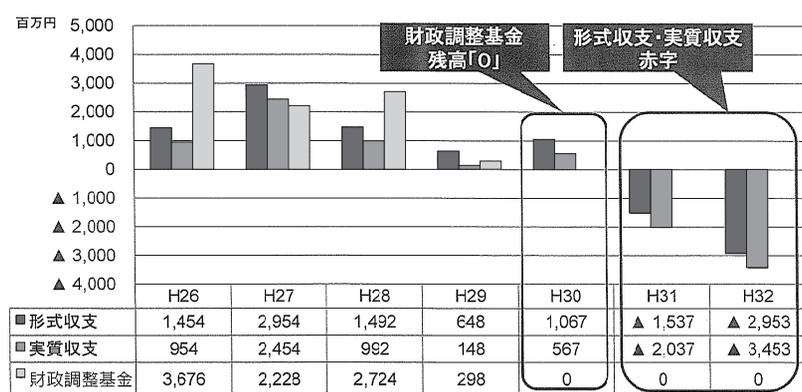
基本構想の変更は、アウトレット誘致予定地を「交流・連携拠点」と土地利用構想に明確に位置づけるものです。また、新市建設計画変更は、合併後10年で新しい街作りを行うと決めていたものを15年へと延長するもので、国や県に届けて許可を得ますと合併特例債が延長して利用できることになり、アウトレット誘致による道路などのインフラ整備や新庁舎建設などに有利な財政措置が受けられることとなります。（図2参照）

図1

収支見込み（現状）

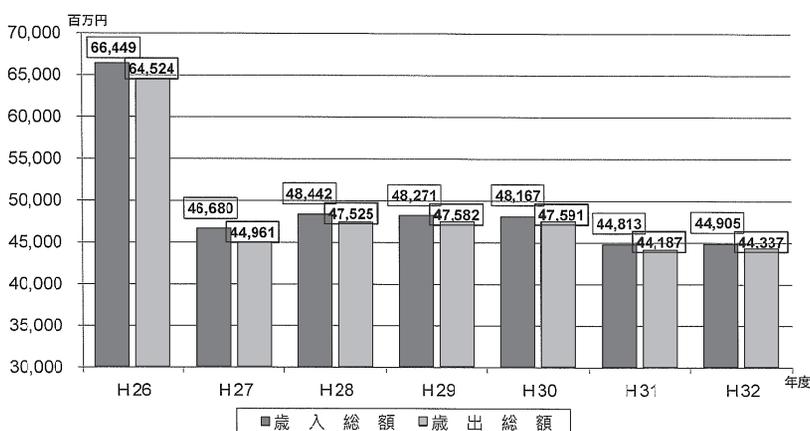
■収支見込では、30年度に財政調整基金が枯渇し、31年度で形式収支及び実質収支が赤字に転落する。

■31年度は実質赤字額が基準を超えるため、地方債の起債制限を受ける「起債許可団体」となる。



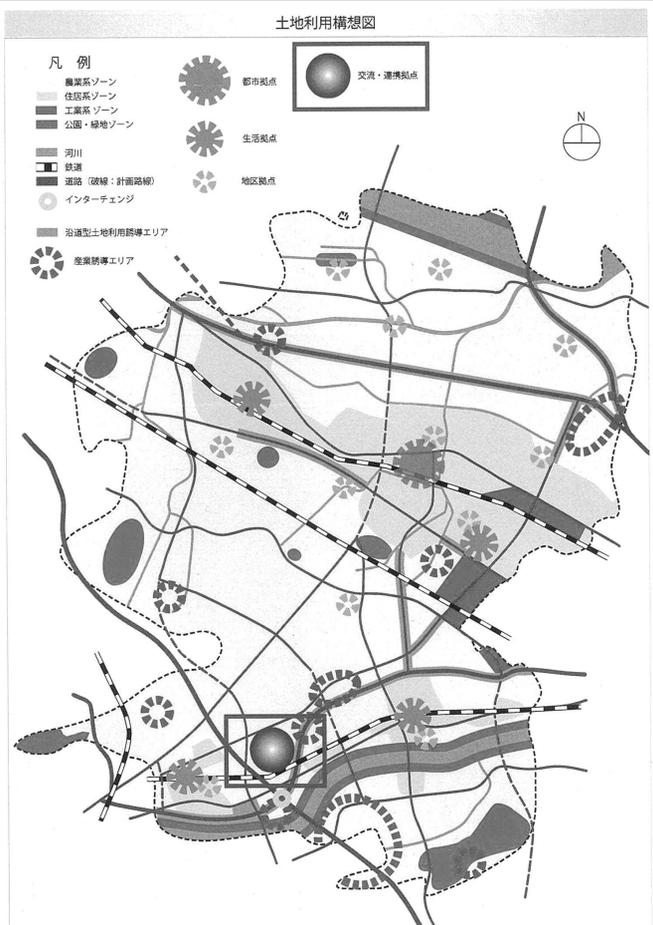
歳入・歳出見込み（県と事前協議中）

■平成28年度以降は、地方交付税の合併算定替の増額分の減少などによる歳入減を見据え、歳出規模を440億円～470億円程度とする。



深谷市企画財政部財政課「深谷市の財政状況と今後の見通し」より

図2



交通・連携拠点

- 広域からの集客力を高める都市型観光施設を配置するとともに、観光や農業などの地域資源を通じた近隣都市との交流と連携を促すことにより、広域的な活性化を実現するための拠点である。
- 花園IC拠点地区を位置づける。

12月12日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「桃李(とうり)ものいわざれど、 下自ずから道を成す」

史記にある言葉ですが、桃やスモモは、良い香りを放つから、その木の下には多くの人がやってきて自然と道ができる。我々も周りに多くの人が集まってくるような人間にならないといけない。という教えです。我、深谷市にも言えることではないでしょうか。

議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問に入ります。

質問1 将来に向けた行政運営、人口動態について。

人口が減少し、全国896の市区町村が「消滅可能性都市」に該当し、内523市区町村は、人口が1万人未満となり消滅の可能性が更に高い！という発表がされましたが、深谷市も例外ではなく、確実に人口が減りますが、市内の、どの地域がどの位減るのか、或いは増えるのか、今後の行政運営に大変重要な問題であると思いますが、把握してしまえたら、お聞かせ下さい。

答弁 各自治会支会別の人口推計は、行っておりませんが、今後の行政運営に大変重要であることから、検討し実施して参ります。

再質問 国や他の自治体では人口推計を行うのにコーホート変化率法を用いて行っております。私も自治会支会別人口推計を作成してみました。それによりますと今後25年間、人口が伸び続ける地域は花園地区と幡羅地区のみで、他の地域は人口が減り続けると共に、少子高齢化が、より一層進みます。例えば深谷地区は、30年間で子どもの数は半減し、65歳以上の高齢人口は1.3倍となり高齢者比率は40%を超えることとなります。しかし、これは予測であり、そうならないように政策を立案して実行していくべきと考えます。近隣市町をはじめ全国の先例市では、「定住促進・若者定住促進事業」を行っていますが、市の考えを聞かせて下さい。(別表1)

再答弁 本市では、定住促進・若者定住促進と称した事業は行っておりませんが、定住促進に繋がる施策として「子育て支援の充実」、医療体制の充実、「雇用の創出」に積極的に取り組んでおります。

再々質問 近隣の行田市では、他市から転入し新築した方に最高100万円、本庄市では30万円、美里町では50万円、熊谷市では4月から最長7年間、固定資産税と都市計画税を減免する(約56万円)制度が始められます。人口が減ると言うことは、現在の約14万3千人で負担している財政を、30年後に約11万6千人で負担していくと言うことであり1人当たりの負担額が増えると言うこと

にもなります。再度質問しますが、我市の最重要課題である、定住促進・若者定住促進をどう行っていくですか。

再々答弁 近隣市町の助成金支給による成果を研究すると共に、現在、行っている施策を更に積極的に実施して参ります。

提言 花園、幡羅地区の人口増は、子育て世代が他市から転入しているからであり、若者定住促進事業は早急に取り組むべきと考えます。7年間の固定資産減免措置は、確かに、その間は税収が増えませんが、その後は確実に増収となり、経済効果も高まります。また、定住促進は市北部地区に有効であり、例えば「3親等・定住促進事業」として、子や孫が約1キロ圏内に家を新築するのを奨励することで、お年寄りの面倒を子どもたちが行き、孫の面倒を、お爺ちゃんやお婆ちゃんが見ることで、人口減は防げますし扶助費も削減できます。こうした思い切った政策が地域創生に繋がるものと提言させていただきました。

質問2 活力と賑わいの創出・立地適正化計画策定について

9月議会でも取り上げましたが、大変重要な問題であり早急に着手するべきと考えますので、再度、質問させていただきます。例えば、岡部駅南側の地区には、これから公民館などの公共施設が整備されますが、農地法などの問題により商業施設などは建てられない状況にあります。立地適正化計画を策定することにより、それが可能になります。今後、高齢化が進み、車を運転できない、お年寄りの皆さんは買い物などにも不安を抱えていかなければなりません。そのような中、ふかや市商工会青年部の皆さんは、「地域内資金循環等・新事業開発検討事業」という国の採択を受け、将来の地域活性化構想策定に取り組んでおります。全国各地の自治体で立地適正化計画策定に向けた動きが加速していますが市の考えを聞かせて下さい。

答弁 昨年11月に、埼玉県による「立地適正化計画策定」の説明会が市町村実務担当者を集めて行われ、本市の担当者も出席して参りました。今後は、出来る限り早期に策定できるよう、調査・研究して参ります。

提言 人口減少の影響もあり、応募児童が10名に至らないということで、豊里幼稚園と大寄幼稚園が休園となりました。誰もが商業施設や医療施設のある利便性の高い地域に住みたいと考えますが、今までの都市計画法では、農地が、どうしても優先されてきましたが、少子高齢化社会に向けて、住みやすさや暮らしやすさ、防犯面なども考慮した安心で安全な「街づくり」を進めていくべきと提言しました。

質問を終えて

花園インターチェンジ拠点整備プロジェクト(アウトレットの誘致)が平成30年度オープンに向けて進められており、完成のあかつきには交流人口(訪れる方)は確実に増えますが、定住人口を増やさなければ、本格的な税収増には繋がりませんし、真の活力と賑わいの創出は不可能であると考えての質問でした。人口減少を食い止めることは難しいかもしれませんが、全力で取り組むと共に、仮に減少した時のインフラ整備にも着手するべきと提言させていただきました。

表1 深谷市全体人口予測(コーホート変化率仕様)(単位:人)

年齢	H26年		5年後		10年後		15年後		20年後		25年後		30年後	
	計	H21年比	計	H26年比	計	H26年比	計	H26年比	計	H26年比	計	H26年比	計	H26年比
0~4	5,688	-612	5,070	-618	4,582	-1,106	4,239	-1,449	3,943	-1,745	3,681	-2,007	3,407	-2,281
5~9	6,498	-465	5,867	-631	5,229	-1,269	4,726	-1,772	4,372	-2,126	4,067	-2,431	3,797	-2,701
10~14	6,938	-229	6,474	-464	5,845	-1,093	5,211	-1,727	4,709	-2,229	4,356	-2,582	4,052	-2,886
15~19	7,126	-256	6,898	-228	6,438	-688	5,812	-1,314	5,181	-1,945	4,682	-2,444	4,331	-2,795
20~24	6,895	-785	6,656	-239	6,443	-452	6,012	-883	5,429	-1,466	4,838	-2,057	4,373	-2,522
25~29	7,411	-1,156	6,655	-756	6,426	-985	6,219	-1,192	5,801	-1,610	5,239	-2,172	4,670	-2,741
30~34	8,480	-1,522	7,335	-1,145	6,587	-1,893	6,361	-2,119	6,156	-2,324	5,741	-2,739	5,186	-3,294
35~39	9,947	-1,043	8,433	-1,514	7,294	-2,653	6,550	-3,397	6,327	-3,620	6,123	-3,824	5,710	-4,237
40~44	11,063	1,744	10,013	-1,050	8,489	-2,574	7,343	-3,720	6,594	-4,469	6,369	-4,694	6,163	-4,900
45~49	9,224	880	10,949	1,725	9,910	686	8,403	-821	7,269	-1,955	6,527	-2,697	6,303	-2,921
50~54	8,249	-1,136	9,119	870	10,824	2,575	9,796	1,547	8,306	57	7,186	-1,063	6,452	-1,797
55~59	9,272	-2,870	8,150	-1,122	9,007	-265	10,692	1,420	9,676	404	8,206	-1,066	7,100	-2,172
60~64	11,886	944	9,076	-2,810	7,977	-3,909	8,816	-3,070	10,465	-1,421	9,470	-2,416	8,031	-3,855
65~69	10,575	1,274	11,492	917	8,774	-1,801	7,711	-2,864	8,521	-2,054	10,113	-462	6,957	59,000
70~74	8,783	1,832	9,989	1,206	10,861	2,078	8,290	-493	7,286	-1,497	8,048	-735	9,551	768
75~79	6,276	661	7,920	1,644	9,011	2,735	9,809	3,533	7,484	1,208	6,578	302	7,261	985
80~84	4,602	366	5,130	528	6,459	1,857	7,354	2,752	8,020	3,418	6,117	1,515	16,812	12,210
85~	4,550	1,041	7,293	2,743	9,402	4,852	11,945	7,395	14,305	9,755	16,342	11,792	15,634	11,084
人数合計	143,463	-1,332	142,519	-944	139,558	-3,905	135,289	-8,174	129,844	-13,619	123,683	-19,780	116,547	-26,916
65歳以上	34,786	5,174	41,824	7,038	44,507	9,721	45,109	10,323	45,616	10,830	47,198	12,412	46,972	12,186
高齢者率	24.2%		29.3%		31.9%		33.3%		35.1%		38.2%		40.3%	

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ(53才)

家族構成 父、妻、長男、長男妻、長女、次女、孫(8人家族)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ふかや市商工会 理事
- 深谷市議会 副議長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。